

平成30年第17回公安委員会会議録

日 時	6月14日（木曜日）	自午後1時30分 至午後5時00分	場 所	公安委員会室
会 議	公安委員	高木委員長 原委員 永田委員 山本委員 小野委員		
出席者	警察職員	本部長 警務部長 生活安全部長 刑事部長 交通部長 警備部長 情報通信部長		

第1 聴聞等についての決裁

運転免許課長から、聴聞11件、意見の聴取34件について説明があり、決裁が行われた。

第2 定例会議

1 県警察における「業務の合理化・効率化」に向けた平成29年度の取組結果及び平成30年度の取組方針等について

(1) 本取組の目的

- 業務総量の縮減、警察力の再配分による「警察力の実質化」
- ワークライフバランスの推進による「マンパワーの最大化」

(2) 平成29年度の主な取組結果（全28施策を実施）

- 捜査業務の合理化
- 業務要領の見直し
- 各種様式、管理簿冊等の見直し
- 各種システムの構築

(3) 平成30年度の主な取組予定（全35施策を実施予定）

- デュプリケータの導入による業務の合理化
- 交通反則切符適用否認事件に係る捜査捜査書類の簡略化
- 昇任時教養に係る合理化・実質化
- 児童虐待通告処理の書類作成要領の見直し
- 審査基準等に係る簿冊の廃止

※ 職員提案制度に基づき職員から提案される意見を検討、採用するなど、引き続き、業務の合理化・効率化への取組を強化し、「警察力の最大化による県民の安全で安心な暮らしの実現」を目指す。

【委員からの質問等】

委員から、「捜査業務の合理化等が行われているが、民間では機械化することで勤務時間を縮減している。警察では通常の業務で機械化により勤務時間が縮減できるような業務はないのか」との質問があり、警察から「各種システムの導入により、引き続き勤務時間の縮減に努めたい」旨の説明があった。

併せて委員から、「K P I（重要業務評価指標）という考え方があるが、警察でも数値目標化できるものを更に数値化することで、結果的にもっと省力化できるのではないか」との意見があり、警察から「職員にアンケートを実施し、その結果に基づいて業務の合理化や見直しを進めており、今後も現場の生の声を大切にして取り組んでいく」旨の説明があった。

2 平成30年度警察官A及び警察行政採用試験の応募状況について

(1) 警察官Aの応募結果

男性						女性					
年度	公告	応募	応募倍率	受験	競争倍率	年度	公告	応募	応募倍率	受験	競争倍率
26	61	630	10.3倍	507	8.3倍	26	13	137	10.5倍	92	7.1倍
27	76	542	7.1倍	433	5.7倍	27	14	125	8.9倍	97	6.9倍
28	77	615	8.0倍	488	6.3倍	28	15	156	10.4倍	125	7.8倍
29	61	490	8.0倍	397	6.4倍	29	15	124	8.3倍	93	6.2倍
30	53	439	8.3倍			30	18	127	7.1倍		

※ 武道指導は、採用予定数4人程度（柔道2人、剣道2人）に対し、5人（柔道4人、剣道1人）が応募

- 応募総数は566人で、昨年と比較すると48人減少
- 応募倍率は男性で、0.3ポイント上昇、女性で、1.2ポイント低下
- 県内居住者は308人で、全体の54.4%
- 卒業見込み者が全体の62.4%を占めるなど増加傾向（昨年比1.8ポイント増加）

(2) 警察行政の応募結果

年度	公告	応募	応募倍率	受験	競争倍率
26	6	55	9.2倍	43	7.2倍
27	7	94	13.4倍	69	9.9倍
28	6	78	13.0倍	63	10.5倍
29	6	55	9.2倍	46	7.7倍
30	9	65	7.2倍		

- 応募者の性別を見ると、女性応募者が41人（全体の63.1%）で増加傾向
- 応募総数及び応募倍率は県行政と同様に平成27年度以降減少傾向
- 県内居住者は53人で、全体の81.5%
- 大学別では熊本学園大学が18人と最も多く、全体の27.7%
- 既卒者の割合が卒業見込み者を上回り、全体の55.4%

(3) 今後の予定

職種・区分	第1次試験	第2次試験	第3次試験	職種・区分	採用予定数	受付期間	第1次試験
警察官A (男性・女性・武道指導)	7月8日(日)	適性検査 8月4日(土) 体力試験 8月5日(日) 面接試験 8月11日(土)~18日(土)		警察官B (男性・女性・武道指導)	6月中旬 公示	8月3日(金)~8月24日(金) ※インターネットも同じ	10月14日(日)
警察行政	6月24日(日)	適性検査・面接試験 7月9日(月)~16日(月)	面接試験 7月26日(木)~8月2日(木)	警察事務			9月23日(日)

【委員からの質問等】

委員から、「九州各県の採用試験の時期を見ると熊本は他県より後にあると思うがどうか」との質問があり、警察から「福岡県、鹿児島県、大分県は5月に試験があり、他の県は7月に試験をしている」旨の説明があった。

併せて委員から、「他県を訪問した際、2次希望で採用になった方の話を聞いたが、熊本にもそのような制度があるのか」との質問があり、警察から「共同試験という制度があり、本県以外に共同試験を行っている都府県の警察を第2、第3希望として選択することができる」旨の説明があった。

第3 報告・決裁等

1 熊本県留置施設視察委員の任命の決裁

留置管理課長から説明があり、決裁が行われた。

2 福島県公安委員会からの援助要求の決裁

警備第二課次席から説明があり、決裁が行われた。

3 自動車運転代行業者への行政処分(指示)の執行に係る処分の公表の決裁

交通企画課長から説明があり、決裁が行われた。

4 熊本県公安委員会及び熊本県警察本部長における熊本県個人情報保護条例審査基準の一部改正の決裁

広報県民課管理官から説明があり、決裁が行われた。

5 賞揚等禁止命令に係る意見の聴取の決裁等

組織犯罪対策課暴力対策官から説明があり、決裁が行われた。

6 平成30年第16回公安委員会会議録の決裁

公安委員会事務室から説明があり、決裁が行われた。

第4 九州管区内公安委員会連絡会議協議テーマ説明

1 若手警察官の現場執行力向上について

教養課次席から説明が行われた。

2 女性警察官の登用・早期戦力化について

警務課総合企画室長から説明が行われた。

3 働き方改革について

警務課総合企画室長から説明が行われた。